

イスラエルに対する聖書の預言

(1) アブラハムへの約束

【創世記 17 : 1-2】

アブラムが九十九歳になったとき主はアブラムに現れ、こう仰せられた。「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前を歩み、全き者であれ。わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に立てる。わたしは、あなたをおびただしくふやそう。」

(2) 世界中に散らされると預言されたとおりに、ユダヤ人は散らされて数々の苦難、迫害や虐待を受けた。反ユダヤ主義、ヒトラー、宗教裁判、十字軍、ムスリムによって苦しめられてきた。

(注釈 ムスリム：アラビア語で、イスラム教徒のこと)

【レビ記 26 : 32-33】

わたしはその地を荒れ果てさせ、そこに住むあなたがたの敵はそこで色を失う。わたしはあなたがたを国々の間に散らし、剣を抜いてあなたがたのあとを追おう。あなたがたの地は荒れ果て、あなたがたの町々は廃墟となる。

■主は彼らを苦しい目にあわせるが、彼らを完全には滅ぼさない。
終わりの時代に、イスラエルは必ず存在する。

【申命記 4 : 27】

主はあなたがたを国々の民の中に散らされる。しかし、ごくわずかな者たちが、主の追いやる国々の中に残される。

【エレミヤ書 30 : 11】

わたしがあなたがたとともにいて、— 主の御告げ —
あなたを救うからだ。わたしは、あなたを散らした先のすべての国々を滅ぼし尽くすからだ。しかし、わたしはあなたを滅ぼし尽さない。公義によって、あなたを懲らしめ、あなたを罰せずにおくことは決してないが。

(3) ユダヤ人は世界に貢献する。科学、政治、経済、医学、音楽など多方面において貢献し、国々を発展させた。ノーベル賞の22%はユダヤ人。

【 イザヤ書 49 : 6 】

主は仰せられる。「ただ、あなたがわたしのしもべとなって、ヤコブの諸部族を立て、イスラエルのとどめられている者たちを帰らせるだけではない。わたしはあなたを諸国の民の光とし、地の果てにまでわたしの救いをもたらす者とする。」

(4) イスラエルの建国、地球上で散らされた民族が生き残った例はない。そして国が建国されたことは、生きた奇蹟である。ほとんどの人が死に、生き残った者は少なかったが、彼らが帰って来て国を建国し、彼らの言語ヘブライ語が再び使われ、今は、全世界に1200万人のユダヤ人がいる。

【 イザヤ書 66 : 8 】

だれが、このような事を聞き、だれが、これらの事を見たか。
地は一日の陣痛で生み出されようか。国は一瞬にして生まれようか。
ところがシオンは、陣痛を起こすと同時に子らを産んだのだ。

【 エレミヤ書 31 : 7-9 】

まことに主はこう仰せられる。

「ヤコブのために喜び歌え。国々のかしらのために叫べ。告げ知らせ、賛美して、言え。

『主よ。あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』

見よ。わたしは彼らを北の国から連れ出し、地の果てから彼らを集める。

その中には目の見えない者も足のなえた者も、妊婦も産婦も共にいる。

彼らは大集団をなして、ここに帰る。

彼らは泣きながらやって来る。わたしは彼らを、慰めながら連れ戻す。

わたしは彼らを、水の流れのほとりに導き、彼らは平らな道を歩いて、つまずかない。

わたしはイスラエルの父となろう。エフライムはわたしの長子だから。」

(5) 変化ではなく、生き残った歴史である。18世紀後半までパレスチナは荒れ果てた地であったが、帰って来たユダヤ人たちによって土地も生き返った。聖書には帰還する預言が40回もある。

【 エゼキエル書 36 : 8-10 】

だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。

わたしはおまえたちのところに行き、おまえたちのところに向かう。おまえたちは耕され、種が蒔かれる。わたしは、おまえたちの上に人をふやし、イスラエル人の全家に人をふやす。町々には人が住みつき、廃墟は建て直される。

【 エゼキエル書 36 : 24 】

わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。

(6) ユダヤ人の存在は、神なしには説明ができない。
神のことばが、彼らが地上に存在すると約束した。

【 エレミヤ書 31 : 35-36 】

主はこう仰せられる。主は太陽を与えて昼間を光とし、月と星を定めて夜の光とし、海をかき立てて波を騒がせる方、その名は万軍の主。「もし、これらの定めがわたしの前から取り去られるなら、— 主の御告げ — イスラエルの子孫も、絶え、いつまでもわたしの前で 一つの民をなすことはできない。」

(7) 1948年5月14日にイスラエルが独立宣言をしてから周囲のアラブ諸国と何度も戦争を経験したが、イスラエルは弱い国なのに守られてきた。

【 アモス書 9 : 15 】

わたしは彼らを彼らの地に植える。彼らは、わたしが彼らに与えたその土地から、もう、引き抜かれることはない。」とあなたの神、主は、仰せられる。

(8) イスラエルの霊的回復。悔い改めが起きる。

【 ゼカリヤ書 12 : 10 】

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

【 ゼカリヤ書 13 : 1 】

その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために、罪と汚れをきよめる一つの泉が開かれる。

【 イザヤ書 62 : 4 】

あなたはもう、「見捨てられている」と言われず、あなたの国はもう、「荒れ果てている」とは言われない。

かえって、あなたは「わたしの喜びは、彼女にある」と呼ばれ、あなたの国は夫のある国と呼ばれよう。

主の喜びがあなたにあり、あなたの国が夫を得るからである。

(9) 再臨を準備する。

【 イザヤ書 10 : 20-23 】

その日になると、イスラエルの残りの者、ヤコブの家ののがれた者は、もう再び、自分の打つ者にたよらず、イスラエルの聖なる方、主に、まことをもって、たよる。

残りの者、ヤコブの残りの者は、力ある神に立ち返る。

たとい、あなたの民イスラエルが、海辺の砂のようであっても、その中の残りの者だけが立ち返る。壊滅は定められており、義があふれようとしている。

***参考：聖書の次の箇所を読んでください。**

エゼキエル書 36 章、39 : 21-29、 エレミヤ書 30、31 章、 ホセア書 1 : 10-11、
ローマ 11 章

(10) キリスト者として、イスラエルに対する態度は？

【 イザヤ書 40 : 1-2 】

「慰めよ。慰めよ。わたしの民を」と あなたがたの神は仰せられる。

「エルサレムに優しく語りかけよ。これに呼びかけよ。その労苦は終わり、その咎は償われた。そのすべての罪に引き替え、二倍のものを主の手から受けたと。」